

## 第3学年外国語 学習指導案

鹿島市立東部中学校

教諭 杉光 いづみ

### 1 日時

平成24年6月22日(金) 第5限(13:20~14:10) 本時①

平成24年6月28日(木) 第5限(13:20~14:10) 本時②

平成24年7月 3日(火) 第5限(13:20~14:10) 本時③

### 2 学級

第3学年1組(36名)

### 3 学級観

本学級の生徒は、男女問わず仲が良く、ペアワークや教え合い学習なども積極的に行うことができる。しかし、英語で自分の考えを述べたり、それを発表したりするという場面では、なかなかその良い面を発揮できない生徒が多い。その原因として、語彙、語順等の基本的な英語力の不足や、表現力、思考力の不足が考えられる。そのような生徒への手立てとして、導入段階でペア活動やスキットなど、口頭での表現の場面を多く取り入れ、書く活動へとつなげたい。また書いて表現する活動においては辞書を活用し、表現の幅を広げさせたい。

### 4 教材

教科書 TOTAL ENGLISH NEW EDITION 3 (学校図書)

単元 Chapter 1 Project 日本の伝統文化を紹介しよう

### 5 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、今まで習った表現を使って、日本の伝統文化を紹介しようという内容である。日本の伝統文化を紹介する活動を通して、これまでに学んだ語彙、表現方法、文構造や文法事項などについての理解と定着を深めさせ、実際に英語で日本のことについて紹介ができる力を養う。

#### (2) 生徒観

本学年の生徒は、昨年度実施されたC R Tの結果より、「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の三つの観点において、全国平均を下回った。「外国語表現の能力」のうち「話すこと」は全国比を上回るが、「書くこと」においては10ポイント下回っている。しかし、ほとんどの生徒が「自分の気持ちや考えを相手に伝える力(話す力、書く力)」を身につけたいと考えている。

#### (3) 指導観

そこで、生徒の「表現したい」という意欲がうまく「表現する力」につながるような学習活動を取り入れたいと考えた。一つは、導入段階にペアによる口頭練習を取り入れる。既習の表現方法や知っている語彙などを用いて実際に日本の伝統文化について口頭で紹介する活動を通して、書く活

動へとつなげていく。また、日本の伝統文化を紹介する時に必要な表現やその使い方を教科書や実際の使用場面を通して学び、英語で日本の伝統文化や日本のものを紹介できる力を育成する。

## 6 単元の目標及び評価規準

### (1) 目標

- 日本の伝統文化や自分のふるさとを紹介する文章を書いて発表する。

### (2) 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
辞書を活用するなどして書いている。	日本のことについてまとまりのある紹介文を書くことができる。		

## 7 指導計画 ※全6時間

指導内容	配当時間	単元の評価規準
<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元で学習する文章の構成や大まかな内容を知る。</li> <li>日本の伝統文化について、<b>What is this?</b>クイズを行う。</li> <li>教科書の例文を読み、文章の構成を理解する。</li> <li>教科書の例文の行間に文を追加し、内容を膨らませる。</li> <li>追加した文について文法や語順等の添削をうける。</li> <li>A L Tの質問に対する自分の考えをまとめ、英語で表現する。</li> </ul> <p>“Would you tell me what to buy for my family as souvenirs?”</p>	<p>&lt;導入&gt; 2時間 (本時① 1時間目)</p>	ア
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本のお土産について、グループごとに<b>Show &amp; Tell</b>を行う。</li> <li>日本のお土産の説明から自分のふるさとの説明へと話題を展開し、自分の考えをまとめ、スピーチ原稿を書く。</li> </ul>	<p>&lt;展開&gt; 3時間 (本時② 2時間目)</p>	イ
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで“<b>My Hometown</b>”と題してスピーチ練習をする。</li> <li>自分のふるさとについて、クラスの前で数名がスピーチ発表をする。</li> <li>全員の“<b>My Hometown</b>”について書いた英文をスライドで紹介し、互いの考えを共有する。</li> </ul>	<p>&lt;終末&gt; 1時間 (本時③)</p>	

## 8 本時の展開

<導入> 本時①

○本時の目標：

教科書の例文の内容を膨らませ、表現の幅を広げる。

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	評価規準	評価方法
3分	1. あいさつ 2. 本時の学習の動機づけ	・提示されたものを見て、本時の学習内容を知る。	・映像で生徒に学習の動機づけを行う。		
5分	3. Warm-up 帯学習 (What is this? クイズ)	・日本の伝統文化について、What is this? クイズを行う。	・本時の学習に出てくる内容に触れ、学習への見通しをもたせる。		
5分	4. Chapter 1 Project 一口頭導入 音読練習	・教科書の例文を読み、文章の構成を理解する。	・机間指導で発音等を個別に見取る。		
25分	5. 例文の内容を膨らませ、表現の幅を広げる	・教師のモデルを聞く。 ・例文にペアで考えた英文を加え、表現の幅を広げる。 ・クラスで発表する。	・活動に先立ち教師がモデルを示す。 ・ペアで考えた英文を個別に添削し、修正させる。 ・他のペアの英文を聞かせる。	ア (辞書を活用するなどして書いている。)	活動の観察
10分	6. 次時までの課題の提示	・次時の課題である「おすすめのお土産」について紹介文を考える。	・4人グループで紹介文を考えさせる。		
2分	7. まとめ	・今日の授業を振り返り、次時の学習内容を見通す。	・授業を振り返り、次時の学習内容を確認し準備を促す。		

<展開> 本時②

○本時の目標：

「おすすめのお土産」のスピーチ原稿から「日本 (ふるさと)」の話題へと発展し、再度スピーチ原稿をつくる。

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	評価規準	評価方法
5分	1. あいさつ 2. Warm-up 帯学習 (What is this? クイズ)	・日本のものについて、What is this?クイズ	・本時の学習に出てくる内容に触れ、学		

	クイズ)	を行う。	習の見通しをもたせる。		
20分	3. 日本のお土産について (Show & Tell)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで発表する。</li> <li>・発表グループは発表後、ALTによる質問に答える。</li> <li>・聞き手は発表者にコメントや発表内容について評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTは発表内容に広がりをもたせるような質問をする。</li> </ul>		
23分	4. 自分のふるさとについてスピーチ原稿を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のお土産の紹介から自分のふるさとの紹介へと話題を広げスピーチ原稿を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のものの紹介から「ふるさと」の紹介まで話題を発展させることで、さらに表現の幅をひろげさせる。</li> </ul>	イ(日本のことについてまとまりのある紹介文を書くことができる。)	原稿チェック
2分	5. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を振り返り、次時の学習内容を見通す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を振り返り、次時の学習内容を確認し準備を促す。</li> </ul>		

<終末> 本時③

○本時の目標：

自分のふるさとについてのスピーチを読み、その内容から表現方法を学び合い、表現することの楽しさを味わう。

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	評価規準	評価方法
1分	1. あいさつ				
10分	2. 自分のふるさとについてのスピーチをペアで聞き合い、多様な表現方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のふるさとについてのスピーチをペアでお互いに聞き合う。</li> <li>・ペアの相手を替え、多くのスピーチをお互いに聞き合い様々な表現方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を理解できているか机間指導する。</li> </ul>		
	3. スピーチ発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の生徒がスピー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者のスピーチ</li> </ul>		

15分		チの発表をする。	について、クラス全体で内容を確認する。 ・できるだけ多くの生徒に発表する機会を与える。		
15分	4. “My Hometown”のスピーチ原稿をスライドで紹介	・クラス全員のスピーチ原稿を読む。	・生徒の発表を映像化し、英語を通して自己表現することの楽しさに気付かせる。		
5分	5. ALTからのメッセージ	・ALTからのメッセージを聞く。	・ALTが日本（佐賀）のよさを語る。		
4分	6. まとめ	・今日の授業を振り返る。	・スピーチの内容について次時（単元後）1人ずつALTによるインタビューを実施する。		